

Women! 性営者 輝女経

私たちの手で地域を変えてゆこう! 溢れる想いと明確なビジョンが未来を創る!

報告者 NPO法人発達障害サポートセンターピュア 理事長 檜尾めぐみ氏(大阪)

六月二十二〜二十三日に福岡で第二十六回女性経営者全国交流会が開催されました。本号では第三分科会で報告した大阪同友会の檜尾めぐみ氏(NPO法人発達障害サポートセンターピュア理事長)の報告内容を掲載します。

ピュアは障害者の中でも発達障害に特化した教育・介護・就労・相談支援を行い、児童・就労、生活介護、短期入所の四つのサービス部門を担っています。また、二〇一四年から東大阪市から事業委託を受けて発達障害相談支援センター(市民のための相談窓口)を開設しています。利用者数は児童・成人合わせて百五十四名、スタッフは正規、非常勤合わせて五十

ピュアの創業

長男が重い自閉症という障害を持っていたことが創業の理由でした。二十歳で結婚して息子を産んで生活が一変、息子共々心中しよるかと思えるほど壮絶な子育て生活でしたが、同じ境遇のお母さんから頂いた一冊の本から専門医に出会えたことで平穏な暮らしができるようになった。私は同じような境遇にある子どもたちや親御さんを救いたいと思い、親の会を立ち上げることにしました。



して自閉症の子どもたちを遊ばせることができる居場所を作るために、NPO法人格を取得してマンションの一室を借りて二〇〇六年にピュアをスタートしました。

しかし、サービスを開始したもののスタッフを雇う資金もなく、数年間は給料がほとんど出せず、新しいスタッフを確保することも困難でした。そんな中、大阪教育大学の学生スタッフを紹介していただいたことをきっかけに、利用者も口コミでどんどん増え、よい循環が作れるようになりました。

正社員を初雇用

大学四年生のスタッフから「ピュアに就職させてください」と言われ、「両親に会いさつに伺ったのですが、安心



ピュアの10年ビジョン

が、お父様に同意いただくことができませんでした。この時に強い責任感と人を雇用することの重さを感じ、何が何でも発展させようという肝に銘じました。

経営指針セミナー受講と十年ビジョン

今では同業法人から転職してくる人が多くなり、人材不足の時代になせ人が集まるのかと聞かれます。実は私もよくわかっていません。ただ、会う人会う人に「障害者があるから生きづらいのではなく、障害がある人もない人も、お互いを認め合って生きていける社会だと誰もが幸せになれる。多様性を受け入れる社会を私たちがつくろう、地域を、社会を、変えていこう」という私の想いを伝え続けていることも関係しているかもしれません。

創業して六年が経過したころ、利用者やスタッフが

増えていくにつれ、自身の考えだけで進めていくのに限界を感じていました。そんな時に二〇一二年に大阪で開催された「障害者問題全国交流会in大阪」に参加し、衝撃を受けて同友会に入会。数年後、経営指針確立文化セミナーを受講し、想いだけでは経営はできないことに気づきました。外部環境や自社の現状を冷静に受け止め、方針や計画を具現化するための数値目標を必死に考えた経験や気づきは、地に足を付けた経営につながっていきま

その後、スタッフとの一泊二日の研修で理

念「私たちは発達障害の方々と地域がつながりあう社会を実現します」ができました。ここで初めて「地域」や「社会」といった文言がスタッフから出てきたのです。スタッフの方がより具体的な将来像を描いていることに驚きまし

新施設の完成とコロナ対策

次なる挑戦は子どもから大人までのサービスを一つの建屋に集約した新施設計画で、建設費は総額三億円。当時の売上の三倍以上もの資金を銀行が貸してくるはずありません。行政に相談に行ったら、二〇〇八年から発達障害にまつわる市の施策づくり委員会として参画してきた実績が認められ、国庫補助金を申請することができ、約半分が補助金として出ることになりました。

とはいえ残り一億四千万

円の借入金と本返に返していきけるのか不安でしたが、指針の仲間の「何かあったら守ったる!」のメールは覚悟に火をつけたので、施設建設予定地の近隣住民から強烈なパッシングに遭つた数々の苦難を乗り越えて、二〇一八年九月に新施設が完成しました。二〇二二年のコロナ禍により感染予防対策に忙殺さ

あすかファクトリー開設へ

二〇一六年から東大阪市内の貸し農園で利用者と一緒にオーガニック栽培に取り組んできました。農作業は役割分担が可能なことや作物の成長過程が分かりやすいことなどから自閉症の人に適しています。本格的に農業を始めるために十年ビジョンに新規事業所を建設する計画を掲げて取り組み、場所を探し求めてたどり着いたのが奈良県明日香村。日本の原風景が見られる美しい村ですが、古都保存法などによる法律上の制限もあって土地の取得に難航しつつも、念願かなって二〇二二年の夏に「あすかファクトリー」をオープンすることができました。



あすかファクトリー

この事業では明日香村のブランド力を生かした農業の第6次産業化を図り、障害福祉サービス以外の収益を確保すること、利用者



あすかファクトリー内の農地

れる日々で売上は二〇%ダウンし、スタッフがみるみる疲弊してしまいました。危機的状況を乗り越えるため二百五十万円をかけてICTソフトを導入、効率化を図り、電話相談や家庭訪問など在宅支援を提案し、三カ月で売上を元に戻すことができました。二〇一七年から毎年社内での経営指針会議を行い、人事評価制度やキャリアパスの設定などの組織づくりをしてきたことも大きかったと思います。

私の究極のゴール

仲間やスタッフは、決してお金では買つたことのないかけがえのない私の大切な財産です。一人でも多くの障害者を助け、学校や企業、地域と信頼関係を築き活性化する街を実現することこそが誰もが生きやすい未来永劫の社会になり、巡り巡って自分に還元されると思っています。障害があっても自分で稼げて、自分らしい自立した暮らしができるように死ぬまで尽力したいと思っています。私の究極のゴール、それは、安心してピュアを次の世代へ託し、安心して息子をピュアに託し、安心して自分の人生を終えることです。私がいなくなっても、息子や息子と同じ境遇の人たちに、変わらない日常がありますように。

第26回女性経営者全国交流会報告集「第3分科会報告」より

設立: 2006年6月
年商: 2億円
事業内容: 障害福祉サービス業
従業員数: 50名(うち非常勤34名)
URL: https://pure-higashiosaka.com